

LRT 運行開始

(2023年8月27日付・下野新聞1面)

記事は加工しています

歴史的事業、2万人祝う

宇都宮—ア—で全線新設

宇都宮市と芳賀町を結ぶ次世代型路面電車（LRT）の宇都宮芳賀ライトレール線が26日開業し、営業運転を始めた。JR宇都宮駅東口周辺で開業式と発車式が行われ、公共交通の主軸となる歴史的事業の門出を祝った。路面電車の開業は国内で75年ぶり、全線新設のLRTは初めてとあって、沿線での歓迎イベントには約2万人（主催者発表）が詰めかけるなど、祝賀ムード一色となった。

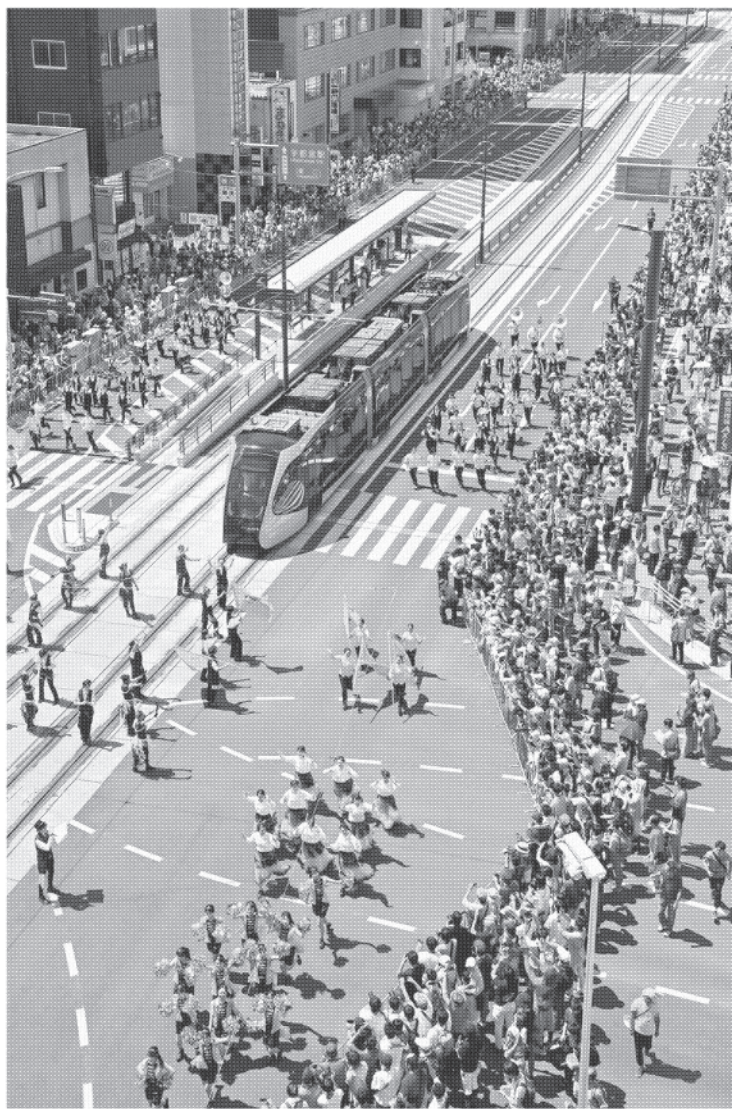
（右端欄子）2、3面に関連記事

開業式は市の交流拠点施設「ア」の宇都宮駅前で行われ、両市町や運行会社「宇都宮ライトレール」、県、全国の交通事業者、地元企業などから約700人が出席。佐藤栄一市長は「LRTは地域に活力や豊かさなど多くの恵みを与える役割を担う。最大限に活用し、50年先、100年先も持続的に発展できるまちづくり」に全力で取り組む、大関一雄市長は「持続可能な住みよいまちの実現に向け大きく前進する。LRTが未来永く愛され、県全体の発展に寄与できることを祈念する」とあいさつした。

福田富一知事は「LRT

は高齢者の外出機会の創出、カーボンニュートラルの推進に寄与する。本県の実情に合った解決策をけん引役として期待する」と祝辞を述べた。

同線は、同駅東口から芳賀・高根沢工業団地までの14・6キロ、19の停留場を設置。684億円をかけ両市町が軌道などを整備し、宇都宮ライトレールが運行を担う。平日は朝4時から深夜0時まで、土日祝日は朝5時から深夜11時まで運転する。運賃は150～400円。

SOON
電子版に動画

宇都宮市と芳賀町に整備されたLRTのルート図



設 問

【1】「LRT」を別の言い方で表した漢字8文字の言葉を答えましょう。

【2】たて見出し「ア」に当てはまる言葉（地名）を答えましょう。

【3】見出しにあるように、このLRTの開業が「歴史的事業」と受け取れる理由を、リード文をもとに考えて書きましょう。

【4】このLRTが途中で渡る県内の大きな川の名前を、ルート図を参考にして答えましょう。

【5】開業式のあいさつの中で、福田富一知事が「カーボンニュートラルの推進に寄与」と述べているが、カーボンニュートラルとはどんなことか。分かりやすく説明しましょう。（初めてこの言葉を聞く人は、タブレット等で調べて書いてもよい）

【6】（余裕があったら調べましょう）【5】の問題に関連して、あなたの身近な地域（市や町など）で、「カーボンニュートラルの推進」につながる取り組みがないかどうか調べてみましょう。